

最後のドムラン家(終)

大正九年七月八日印刷 大正九年八月十日發行

(正價金一圓廿錢)

著譯者 坪内雄藏

發行者 大倉廣
東京市京橋區南橫町十八番地

印刷者 坂本謹四郎
東京市京橋區松屋町三丁目二番地



(刷印所刷印舎新博)

最後のドムラン家

(著作権所有)

發行所 東京市京橋區 振替東京四六八四
南橫町十八番地 電話京橋二四六三 廣文堂書店

始終戀をしてゐる男

四六判洋綴美本
金六拾五錢
送料金六錢

坪内逍遙博士譯

近代英國喜劇中最もユーモアに富める傑作で、作者亦有名なハンキン氏である。巧に誓拔を運んで行く若い男女の對話、多少の鹽辛みを含んだ頓智一段の深みある現實味、一種皮肉な諷刺の間に自らにして閃く人生觀等には些の誇張なく、而も能くセンチメタリズムを脱却し得て、生氣潑漉、文致亦典雅、青春男女の正に味讀鑑賞すべきものである。

9.9.4



391
148

終

